

第3期
子ども司書講座
新聞
第9号

読み聞かせにチャレンジ！読み方の練習



絵本を選んだあとは、読み聞かせの練習をしました。せっかく良い絵本を選んでも読み方がうまくいかないと絵本の世界も気持ちも伝わりません。では、どのように読んでらよいのかみてみましょう。今回は、普段から図書館で読み聞かせをしているボランティアの皆さんと一緒に練習しました。どのように読んでらよいのか？ちょっとしたコツや工夫を教えてくださいました。皆さん、とても真剣にアドバイスを聞いていました。

皆さんが読むという事は聴いている人がいます。どんなことを伝えたいのかな？どんなことを感じてほしいのかな？一緒に楽しみたいたい！いろいろな考えてみましょう。読み方にはいろいろなコツがあります。

絵本の読み方

1. 下読みをする
どんなストーリーか知るためにしっかりと下読みをしよう！
2. 読みにくい言葉を練習
安心して読むことができるよ♪
3. ゆっくり、はっきり、ていねいに！
ゆっくりはっきり読むと、一つのまとまりのあるお話として聴いている人に届くよ！

絵本を選んだら、繰り返し、読んでみましょう。あらかじめ下読みすることで、どんなストーリーかわかります。お話の流れに合わせてページをめくることができると、どんな雰囲気を読んだらいいのかなどがわかります。

下読みのコツは、自分自身が最初の聴き手になるつもりで、声に出して読むことです。次に、読みにくい言葉の練習をしましょう。途中でつかえてしまうと、読むことに慌ててしまいます。安心して読み返して練習しましょう。絵本の持ち方も重要です。絵本を持つ手で絵を隠してしまったり、読むことに集中しすぎて、顔で絵を隠してしまったりといけませんので注意しましょう。



ボランティアさんに読み方のコツを教わって、一緒に練習しました。

声に出して読むと、こぼの意味場面や状況、登場人物の行動などがわかるだけでなく、それがどのような表現で語られているのかも確認することが出来ます。そして、最後に「ゆっくり、はっきり、ていねい」をポイントにして練習することが大切です。ゆっくり、しっかりと声で読むと、読む人にも聴く人にも、はっきりとお話の世界が見えてきますよ。このポイントを覚えて、どんどん練習していきましょう！

みんなで練習！



申込みは不要です。どなたでも自由にご観覧いただけます。皆さんのご来場お待ちしております。

日時：平成27年1月18日（日）
午後1時30分～2時30分
場所：市立図書館おはなしの部屋
読み手：子ども司書

子ども司書による
“おはなし会”
を開催します！

